

基本目標Ⅰ 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

I-1. 就学前の子どもたちが文化にふれる機会の重点的な創出

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費(千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他		市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価		
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)	
子育て施設課	【保育所運営事業】 保育所運営事業 (人形劇の実施)		○	1-1			○	○				各所で活動している人形劇団による、保育所11園での人形劇鑑賞。演目は「おひさま劇場」から2題で、文化性の高い内容のもの。各保育所等で上演することで、子どもたちに鑑賞機会を提供する。	・行事と重ならないように実施時期の調整が必要。 ・実施劇団の選定。	就学前の子どもたちが文化に触れる機会の提供継続に努める。					○	○									在園児保護者向けにおたより等で通知	○	子どもたちに生のお話を肌で感じてもらえるよい機会である。事業の運営に関しては、施設・庶務部会、所長代理会にて協議しながら協働団体と内容等を決めている。	A	
文化国際課	【芸術文化普及事業】 子ども芸術推進事業		○	1-1	1-2		○	○				アウトリーチ事業として、就学前の幼児が所属する施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。演劇の表現者が、子ども達の豊かな想像力を引き出し、アートに触れる感動や喜びを体感してもらう。令和6年度は「時計のない村」をテーマに、制作や演劇による創造活動などを通して、様々な表現の仕方や想像力を学んでもらうワークショップ事業を実施。幼稚園8園で4日間の開催(参加者人数:130人)	開催時期の調整。各園が参加したいと思ってもらえる企画の実現。	就学前児童の豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供していく。	○	○	○	○														子どもたちに、プロの劇団員によるワークショップを通じて、制作や演劇の楽しさ、想像力を感じてもらえるよい機会である。子どもたちの楽しそうな姿を見られたことはもちろん、先生方にも「良い経験となった」との感想をもらえている。	A
図書館	【読書活動事業】 子ども読書活動推進事業、ブックスタート事業		○	1-1	1-2	1-3	○	○			○	4か月児を対象に、絵本や子育てに関する情報をブックスタートセットとして対象者1,241人に対し、1,226冊配付した。市内6図書館で乳幼児向け・児童向けお話を等を180回開催した。すべてのチャビコホームに月1回配本を行った。「子ども読書ノート」を図書館窓口や館外イベント等で配布した。小学校12校へ学校配送セット本サービスを行った。	今後も定例おはなし会は継続しながら、より利用者のニーズに沿った事業を検討し読書推進に繋げていく。また、LLコーナー(やさしい日本語で書かれた本)の充実と外国語の絵本の充実を図る。	子どもが読書に親しみきっかけとなるよう、今後もブックスタート事業や、各図書館におけるお話会等の継続と拡充を目指す。また、図書館の蔵書構成等において、見直し及び検討を進める。	○	○	○	○		子育て支援課、学校教育課	岸和田市子ども文庫連絡会図書館ボランティアグループ「だっこ」等	1,598	○		○						○	図書館ボランティアグループ「だっこ」では、本館、桜台図書館において、定期的に「おはなし会」を開催し参加者にも好評で図書館への利用促進に繋がっている。また、こども家庭すこやかセンターでも「ババママ教室」において、読み聞かせの方法やおはなし会等を開催し、子を持つ親に向けての読書推進に繋げている。	A
市民病院(経営管理課)	【病院管理事業】 ギャラリー活用事業		○	1-1	Ⅱ-2		○				○	市民病院の廊下にあるギャラリースペースに就学前児童等が作った美術作品を展示。就学前児童等の発表の機会であるとともに、来院される方々には子どもの感性が活かされる作品等を鑑賞する機会となった。	展示作品入替え時のスケジュール調整。	今後も引き続き展示を続けていく。			○	○				学校教育課(各幼稚園)、子育て施設課(各保育所)							年に一度、学校教育課、子育て施設課他に案内文を送付	○	来院された方で、立ち止まって眺めている姿をよくみる。子どもの季節に応じたかわいらしい作品に多くの方が癒されているのではと考えられる。	A	

I-2. 子どもたちに対する文化プログラムの充実

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価					
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)		
生涯学習課	【青少年育成事業】 子どもの居場所づくり事業		○	1-2							○	子どもたちが余暇に、文化活動を通じて仲間づくりと併せて友情を育み、豊かな心を養うことや、社会性を身につけることを目的としている。 市立公民館で、長期の休み以外の毎週土曜日に2時間程度開講。ジュニアオーケストラ(39回)、陶芸(36回)実施。	特になし。	子ども一人ひとりに感受性や社会性が身についていると感じられるような教室を目指す。	○	○				○				900	○							○	学校外で継続的に取り組める文化活動の機会として重要である。 また、異年齢交流の中で、人への思いやりやコミュニケーション力が培われている。	A
企画課	【大阪・関西万博推進事業】 プレイベント開催等事業	○	○	1-2								大阪・関西万博開催の前年に、本市から機運を盛り上げるイベントとして、10/19(土)・20(日)に「KISHIWADA EXPO～泉州海の万博～」を開催した。 万博会場と本市の共通項である「海」をテーマに、Day1では「ブルーエコノミー日本サミット」、Day2では「海の万博体験会」を実施し、ブルーエコノミーの推進や子どもたちが未来に夢や希望を持てる場を創出した。	令和6年度のみ開催	令和6年度のみ開催						○		(一社)夢洲新産業・都市創造機構、みらいのたからばこ実行委員会、TOPPAN(株)、(株)竹中工務店、(株)森兵船船、富士通Japan(株)、(株)T's products	特設ウェブサイト、インスタ、エックス、(一社)夢洲新産業・都市創造機構ウェブサイト及びメールングリスト、みらいのたからばこ実行委員会ウェブサイト及びメールングリスト	23,000	○	○	○	○				○	万博開催の機運を高めるとともに、海の魅力発信と環境保全意識の向上、地域産業の振興、次世代育成に資する内容となった。	A

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価					
							限定の参加者のみ	0歳〜就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価				
																										①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他(具)		
学校教育課	【地域教育支援活動事業】 放課後子ども教室事業		○	1-2	1-3				○			平日の放課後の時間や土曜日に子どもの居場所づくりを目的に各教室が計画した特色ある様々な活動(学習活動・スポーツ活動・工作活動・園芸活動など)をボランティアである指導員が中心となり実施した。	ボランティアである指導員の減少に伴い、教室の維持が難しいため、指導員の確保が課題となっている。	ボランティアである指導員の確保を行い、教室の充実(実施内容・数)を図っていく。	○				○				1,050	○			○			○	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら問題点や改善点を共有している。コロナの影響も薄くなり、活動が以前の形に戻りつつある。	B				
図書館	【図書館運営事業】 自動車文庫事業		○	1-2	1-3				○	○		小学校10校に移動図書館車で出向き、資料の貸出し、返却等の業務を行っている。また、蔵書の限られたデビットホーム43か所へ月1回配本、幼稚園・保育所等24か所へ、3〜4ヶ月に1回絵本セットの貸出・配送するサービスを行い、各施設の本の充実を図っている。	小学校により利用者にばらつきがある。 移動図書館車両の老朽化。	自動車文庫事業の維持や継続も含め、今後の自動車文庫のあり方を検討する必要がある。	○					○			学校教育課、子育て支援課、子育て施設課		18,417								図書館へ来館が困難な方や子どもへの読書推進に繋がるサービスについて、学校等へアンケート調査を行った。引き続き、自動車文庫(なかよし号)の今後の方向性やサービスのあり方について検討を行う。	B		
自治振興課	【平和推進事業】 子ども平和映画会開催事業		○	1-2	Ⅱ-1				○			ホールにて、午前、午後の2回映画会を実施した。 また、ホール前ロビーでは、ヒロシマ、ナガサキの原爆写真パネルを展示し、来場する方々に戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを再認識していただく機会とした。 さらに、大阪府警察署の協力のもと、熊取町女兒誘拐事件にかかるチラシとポケットティッシュの配布を実施し、映画上映前にも啓発DVDを上映した。 当日は午前144名、午後101名の入場者があった。	近年、映画制作会社が平和や戦争に関する映画を新たに制作することがなくなってきていると聞いているため、どうしても作品が古い物になってしまう。	今後も映画を通して、児童や保護者に平和の尊さを再認識していただく事業の一つとして継続し、平和推進を図っていく。						○	○			大阪府警察署		245	○			○				○	少子化の影響もあり、参加者が減少傾向にあるが、これからも若い世代に平和推進をしていくことは重要であると考える。 令和6年度も同事業を通じて平和の啓発は実施できたと感じている。	A
生涯学習課	【学級講座等運営事業(学び舎プログラム)】 学び舎プログラム学び舎ネットワーク事業、学び舎プログラム学び舎ゼミ事業、学び舎プログラムまちづくり実践プロジェクト事業		○	1-2	Ⅱ-6							学び舎ネットワークでは全世代を対象として「公民館キャンドルナイト〜キャンドル作り&演奏会〜」を開催。 参加者が自作したキャンドルに火をつけ、幻想的な雰囲気の中で音楽鑑賞やイベントを楽しんだ。 まちづくり実践プロジェクトでは、地域活動や市民活動を活性化するとともに良い地域づくりにつなげることを目的とし、生涯学習を生かした取り組みを行う委託団体を募集。令和6年度はプレゼンテーションの結果、4団体が採択された。文化芸術に該当する事業を行っていたのは以下の3団体 ・事業名「teamらいと」(団体名: teamらいと): 「ホンネで生きる」をコンセプトに、茶話会やイベント活動を実施。 ・事業名「きしわだおばけやしき」(団体名: 泉州電波発信協会): 公民館を使ったお化け屋敷を開催。企画・表現を子どもが考え、実施に必要な知識や技術についてプロから学ぶワークショップを実施。 ・事業名「異文化交流」(団体名: おかん家): 岸和田市について学び、岸和田市の良さをニューヨークの子どもたちに伝える活動を実施。	全世代の集客を見込める事業を分野に偏りなく毎年企画することが課題である。	企画に対して、より集客力をつけるPRを実施する。	○				○	○					465	○			○				○	「公民館キャンドルナイト〜キャンドル作り&演奏会〜」では、1部と2部に分けたことで創作・音楽鑑賞それぞれに興味のある方が参加することができた。 まちづくり実践プロジェクトは市民から事業提案を受けるため、従来の公民館講座とは違った視点での講座を実施できた。	A	
文化国際課	【芸術文化普及事業】 アートマルシェ事業		○	1-2	Ⅱ-6	Ⅳ-1			○	○		市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。8月と3月に開催。8月は子ども向け、3月は大人向けといったように、毎回講座内容を変えて実施。(参加者8月291名、3月263名)	講座によって申込み状況にばらつきがある。バラエティーに富んだ講座の充実。乳児・障害児も参加しやすい講座の設定。	文化芸術に触れるきっかけとする事業で、多様なプログラムの充実を図っていく。マンネリ化を防ぐため新たな分野のワークショップを開拓したい。また、プロの芸術を間近に触れる機会も作りたい。	○					○			育成団体、当館を利用している教室、他		144	○			○		○	フォーム申込にしたことでより簡単に申込できるようになった。また、毎年参加される市民もあり、文化芸術に触れる機会の提供を担っているといえる。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。	A			

I-3. 小中学校などの学校教育機関における文化事業や地域との文化交流の推進

担当課	事業名	R 6 年 度 新 規 事 業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価		
							限 定 の 参 加 者 の み	0 歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加	食文化 等 その 他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報 発信 に 関 する 自 己 評 価				
																								①市 広 報 ・ 市 HP	②市 の SNS	③ち ら し・ ポ ス ター 類	④市 以 外 の HP・ SNS	※ ④ の 掲 載 先				⑤ そ の に (具	
学校教育課	【読書活動事業】 学校司書配置事業		○	1-3			○		○			小中学校における読書活動をさらに推進し、児童生徒の読書意欲、読書週間を形成することや、読書活動の企画や立案、読書活動への支援や相談、学習に関する資料の提供、提案を行う学校司書の派遣。(小学校週2回、中学校週1回)	派遣された学校司書と学校の図書館担当をうまくつなげ、子どもの読書推進をいかに充実させていくかが課題。	派遣日数を増やす等充実させていきたい。また、図書館業務を円滑に進め、活用状況を把握・分析できるシステムの導入を検討したい。								29,266								子どもへの読書活動の推進のため、充実に努めているが、人材の確保が難しいことや限られた予算の中で読書推進の工夫を行っていく必要がある。	A		
学校教育課	【児童生徒育成支援事業】 文化祭参加等事業 (幼・小・中学校所属児童作品展示)		○	1-3				○	○			市立幼稚園、小学校、中学校、高校に所属している児童・生徒の作品等を、市役所の廊下にQRコードと合わせて掲示。HPにも掲載している。	掲示場所が旧館の階段にあるため、目立ちにくい。	保護者を含む市民の方々に広く知っていただけるための活動の推進。(庁内電光掲示板へのメッセージ添付)	○	○	○				広報広聴課			○				庁内電光掲示板	○	掲示作品を保護者・祖父母等が観に来てくれる機会が増加している。	A		
選挙管理委員会	【選挙常時啓発事業】 選挙常時啓発事業			1-3						○		岸和田市内の小・中学校及び産業高校に対し、明るい選挙啓発ポスターの作品募集を行い、応募作品については市HPに掲載した。 【浜小学校3点、久米田中学校9点】	岸和田市内の各学校に依頼をしているが、参加する学校に偏りがある。	今後も継続して事業を行い、明るい選挙に向けた啓発を進める。	○	○	○				公益財団法人 明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会 大阪府選挙管理委員会	13		○		○			学校への出前講座時の宣伝	○	毎年多数の応募があり、明るい選挙について推し進めることができる。	A	
人権教育課	【人権教育・人権啓発事業】 人権作品集発行事業、人権啓発事業、人権を守る作品展開催事業		○	1-3						○		人権を守る作品展をマドカホールで実施(入場者数1201人)、巡回人権を守る児童・生徒作品展を5カ所で実施(計791作品 24校)、いじめ問題啓発児童・生徒作品展を実施。	子どもたちの人権意識の育成を図る。	子どもたちの人権意識の育成を図るとともに、児童・生徒等によるポスターや標語を展示する「人権を守る作品展」などによる啓発を充実させます。	○	○	○				人権・男女共同参画課	岸和田人権協会	461		○		○			○	1,000人以上の市民が、児童生徒の作品や人権の取組に関するパネルやポスター等を鑑賞。参加者から児童生徒の作品について大変好評を得ている。	S	
産業高校学務課	【産業教育フェア開催事業】 デザイン科卒業作品展開催事業		○	1-3						○		岸和田市立産業高等学校全学科の取組みを紹介するとともに、令和6年度卒業のデザインSTEM科生徒による卒業制作作品展示及び舞台発表(ファッションショー)を実施。3年間の学びの集大成としてクラス統一テーマを掲げて作品制作を行い、企画・広報・運営など生徒主体で取り組んだ。在籍生徒、家族をはじめ、広く社会に向けて鑑賞の場として提供している。	ファッションショーは多くの方に来場いただけるようになっている。混乱なくご覧いただけるように継続したい。	生徒の意欲や作品の精度は年々向上しており、近年は学校関係者以外にも多数ご来場いただけるようになった。今後も生徒が3年間で身に付けたデザインに関する知識や技術を表現する集大成の場として威厳ある作品展にしたい。	○	○	○								○		○	○	学校HP	テレビ岸和田	○	企画・広報・運営全てを生徒主体で行っている。多くの方にご来場頂き、作品展示・舞台発表ともに好評をいただいた。また、テレビ岸和田にも取り上げていただいている。	A
文化国際課	【文化会館管理事業】 文化会館貸館事業 (チャレンジ支援事業)		○	1-3	1-4		○		○			小・中学校への支援として実施。チャレンジ支援事業では、各校のクラブ活動団体がコンクールに参加する場合、本番に近い環境を経験することで日常の練習の成果が本番に活かされるようホールの使用を提供。令和6年度利用団体数は2、利用件数は4。	事業の対象がはっきりしているため、通知文を送付し、周知に努めているが、各校の関係者にどの程度周知されているか不明。	引き続き、小・中学校への支援として継続していく。														年に一度、市内小・中学校に案内文を送付	△	本番に近い環境を整え、提供できた。来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体参加をより促していきたい。	A		
人権教育課	【人権教育研究事業】 泉南地区人権教育協議会事業 (泉南地区支援教育研究会学習発表会開催事業)		○	1-3	Ⅱ-2				○		○	各小中学校の支援学級在籍の児童生徒が、2日間かけてマドカホールにて普段の学習の成果を発表(生徒数約775人)し、個々に応じた目標の達成を図った。	各校の担当教員同士の綿密な打ち合わせや引継ぎ。	児童生徒の日々の学習発表の場として、今後も継続して実施していきます。	○	○	○				泉南地区支援教育研究会	801		○		○				○	学習してきた成果を発表することで、児童生徒の自信につながっている。また、保護者の参加もあり、子どもたちに対し、これまでの努力を褒めるなど、あたたかい言葉かけがある。	S	

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価		
																				①市広報・市HP	②市のSNS					③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)	
障害者支援課	【地域生活支援事業】 障害児・者作品展開催事業		○	I-3	II-2				○		○	○	障害者週間において、障害児(者)の作品を展示する作品展を開催し、障害児(者)への理解を市民に広めるとともに、障害児(者)の社会参加の機会を広げることを目的としている。 参加者(出品者)数…(児)1069人、(者)6人	休日に開催してほしいとの要望がある。	作品展示等は、例年どおり実施予定。 休日開催については、貸館状況及び作品搬出を各校の教員、出展者が対応することから、調整が必要である。	○	○	○	○				(作品を出品する) 市内小・中学校、支援学校	290	○	○	○			市内小中学校支援学級および岸和田支援学校に案内文を送付	○	作品展は本課が企画・運営しており、展示の際は本課職員、出展学校の職員や出展する障害者が協力し、円滑に展示できている。	A
文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化事業への市民参画推進事業		○	I-3	II-5						○		広く市民が事業に参画できる文化事業の実施として、文化祭事業やマドカ合唱祭などがある。また、アウトリーチ事業では実施前・実施後に子どもの所属先関係者と対話を通じて、より丁寧な事業の実施を行っている。	参画の内容を適宜見直しし、ブラッシュアップに努める。	今後事業の内容により、参加者が参画できる事業立案をすることで文化事業が活性化、また市民の交流の場となるよう努める。				○										今後参加者の意見を取り組みながら、ともに事業実施に取り組んでく。	A			

I-4. 子どもたちの文化活動への育成・支援

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価
																				①市広報・市HP	②市のSNS					③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
文化国際課	【芸術文化普及事業(育成団体支援事業)】 市音楽団支援事業、市青少年少女合唱団支援事業、マドカドラマスクール支援事業、岸和田市青少年少女合唱団欧州公演補助金交付事業		○	I-4	Ⅱ-1	Ⅳ-1			○		○	3つの育成団体(合唱・吹奏楽・演劇)の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、指導者への謝礼を支払う。少年少女合唱団においては、欧州公演支援のため補助金を交付した。また、定期発表の場を設け、日常の成果を市民に還元するための公演を実施している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の団員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるよう、団体の存在や活動を広く知ってもらう。		○	○	○			岸和田市少年少女合唱団、岸和田市音楽団、マドカドラマスクール	2,240	○	○	○	○	各団体のSNSアカウント	○	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていき、支援を続けていきたい。	A	
文化国際課	【国際交流団体支援事業】 国際親善協会支援事業、日中友好協会支援事業、日韓親善協会支援事業		○	I-4	Ⅱ-1	Ⅳ-1			○		○	3つの団体の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、補助金を交付している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の会員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるよう、団体の存在や活動を広く知ってもらいたい。		○	○	○			岸和田市国際親善協会、日中友好協会、日韓親善協会	3,037	○		○			○	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていき、支援を続けていきたい。	S	

I-5. 国際交流の推進

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価		
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価				
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)	
産業高校学務課	【高等学校教育振興事業】 韓国姉妹校交流事業		○	I-5					○			生徒10名、引率者4名を姉妹校である漢国ソウル特別市永登浦区漢江メディア高校に派遣。授業体験、フィールドワーク、ホームステイを通じ、親睦を深めるとともに異文化交流を推進した。	派遣・受入生徒数の増員と、両者にとってより適切な交流期間・時期の検討。	令和7年度から府立高校でも国際交流が始まるが、10年以上の経験がある本校の交流事業をPRし、本校の魅力向上に努める					○				939				○	学校HP	○	派遣に参加した生徒の満足度は高く、派遣生徒の選考試験は生徒の大きな目標になっている。今後も継続して実施する。	A		
文化国際課	【国際交流事業】 姉妹友好都市交流事業、KIX泉州国際マラソンランナー受入事業		○	I-5	Ⅱ-3		○		○		○	姉妹都市である韓国ソウル特別市永登浦区に文化視察団の派遣を行った。現地の木連展に岸和田市文化協会会員の文化作品を送り、本市と永登浦区の合同作品展として開催された。現地では、市民や団体との交流を行い、芸術文化の促進に努めた。 姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市(SSF)から、青少年15名と引率4名の19名を本市で受け入れた。市民団体の協力やホームステイや市立産業高校を通じて、青少年・市民交流を行った。 姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市と韓国ソウル特別市永登浦区からKIX泉州国際マラソンに参加する市民ランナー3名を招待した。滞在中は、マラソン大会への参加や、各市民団体との交流も行い、スポーツを通じて、様々な交流の場を設けた。	隔年事業として行っているが、広く市民に周知されているわけではないので、どのように周知してもらうか課題である。 本市の魅力をいかに伝えるかをテーマに、事業を企画する際の仕組みづくり。 市民や青少年との交流の場を今以上に多く設け、国際交流の必要性を周知させていきたい。	事業は引き続き継続し、広く市民に周知し、多文化理解の助力としたい。また様々な交流の場を設けることで、国際社会に向けた環境の整備をすすめていきたい。			○	○	○		学校教育課・岸和田市立産業高等学校	岸和田市文化協会、岸和田東ロータリークラブ	3,288	○	○	○					○	国際交流を通じて芸術文化の交流や、青少年による交流、そしてスポーツ交流と幅広く交流を行うことができた。 一先ず、例年通りの事業を再開することができたことで、今後の課題や改善点をブラッシュアップしていく。	S
文化国際課	【国際交流事業】 新たな姉妹友好都市締結に向けた交流会議事業	○	○	I-5	Ⅱ-3		○		○		○	新たな交流都市である仏ラ・ロシェル市に本市より音楽を学ぶ青少年を派遣し、現地で音楽を学ぶ者同士の交流や現地でコンサートに出演、日仏の青少年によるクラシック音楽を披露した。帰国後は、市民向けの成果発表会として現地で学び、披露した楽曲を演奏。また現地ではホームステイを通じて市民交流を行った。	音楽という専門的な分野での交流となり、知識不足を補っていく必要がある。また、交流としても初めての事業という事もあり、時間の使い方など多くの課題が残った。	今後も継続するとともに、より多くの青少年に国際交流のきっかけを与え、青少年の将来のビジョンの助力にしたい。			○	○	○	○					3,404	○	○	○		○	新たな事業展開の成果として音楽で表現することは、これまでの青少年交流とは違い目に見える形で成長を感じることができた。まだまだ課題の残る事業ではあるが、継続していくことで、よりよい事業展開が見える。	S	

基本目標Ⅱ 輪を広げる

Ⅱ-1. 発表・鑑賞機会の充実

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)
自治振興課	【平和推進事業】 巡回平和パネル展開催事業			Ⅱ-1							○	市民センター5カ所と市役所新玄関の計6カ所で、「大阪に残る戦争の傷あと」と題し、パネル展を実施した。	市民センターのロビー等に展示しているため、実際の来場者数を把握することが難しい。	市民にとって、より身近な施設で開催することで、多くの市民に鑑賞いただくとともに、非核平和への意識が高揚していく機会としていく。			○	○	○				○						○	各年度によりテーマを変えて実施している。多くの市民の皆様に鑑賞していただき、戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識していただけたものと認識している。	A	
自治振興課	【平和推進事業】 非核平和資料展開催事業		○	Ⅱ-1						○	○	特攻隊に関する写真パネルをメインに、核兵器禁止条約、広島市立基町高校の生徒が描いた原爆の絵、戦時中の現物資料、小・中学生が作成した平和に関する作品等の展示を実施した。	展示のメインテーマを何にするか、どこで開催すればより多くの方々に見ていただけるか等について、毎年度苦慮している。今後も「平和を考える戦争展」実行委員会メンバーで協議しながら、市民の関心のあるテーマやより多くの方々に見ていただける場所について検討していくこととする。	市民が「戦争の悲惨さ」や「核兵器の恐ろしさ」を知り、平和の尊さを認識してもらう。			○	○	○			平和を考える戦争展実行委員会	167	○		○			地域巡回ローズバス車内でのチラシ掲示・会場であるラパーク岸和田店内でのポスターの掲示	○	各年度によりテーマを変えて実施している。非核平和資料の展示のほか、オープニング式典では合唱部による合唱、朗読劇、講演会も実施し、多くの市民の皆様戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識していただけたものと認識している。	A

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)
市民病院 (医療マネジメント課)	【病院運営事業】 ロビーコンサート開催事業			Ⅱ-1								○	12月に入院患者さんや市民の方向けにクリスマスロビーコンサートを開催した。岸和田市音楽団に吹奏楽の演奏をお願いし皆様がお楽しみいただけるクリスマスソングを演奏していただいた。	入院されている患者様が癒される催しを続けていくこと。	出演者だけでなく、病院スタッフも参加できるような催しを開催していく。	○	○	○				8	○			○	○	病院HP		○	患者・家族・病院スタッフも楽しく過ごせた。	A
人権・男女共同参画課	【人権啓発事業】 人権を守る作品展開催事業		○	Ⅱ-1							○	○	12月の人権週間に向け、「人権尊重」をテーマにした作品(ポスター、標語)を募集して、入選作品を12月に「人権を守る作品展(会場:マドカホール)」で展示するほか、1月、2月に「人権を守る作品展巡回展示(各市民センター)」で展示。マドカホールでの来場者は令和6年度は1,362名。	子どもは学校を通じて多数出品されるが、市民の作品応募が少ない。	引き続き作品展を開催することにより、人権啓発が図られる。作品応募について、市民協議会人権部会への案内を実施する。	○	○	○				人権教育課	岸和田市人権協会	163	○	○	○		人権協会や人権啓発企業連絡会に周知	○	作品の制作に取組んでいただき、またその作品を展示し市民の方々に見ていただくことで、様々な「人権」に触れ、大切なことに気づききっかけづくりとなっている。	A
文化国際課	【芸術文化普及事業】 市展開催事業			Ⅱ-1								○	美術に関する分野(洋画・写真・書・俳画・陶芸・日本画)の公募展を行い、毎年11月に受賞作品を集めた展覧会を行っている。令和6年度は、平年通り各部門の作品の公募、審査を行い各賞を決定し、作品解説を実施した。また昨年より次世代を応援する意味を込め、40歳未満を対象とした奨励賞を設定した。 市展:総出品点数263点、総来館者数1,946人	以前からの出品者の高齢化に伴い出品数と来館者が減少している。若い世代の出品数が少ない。	若い世代への出品をひろげるべく、募集要領の配布先変更等を検討していく。また、市民でさえ市展の存在を知らない人が多いため、その周知に務める。	○	○	○	○				市展委員会	1,961	○		○		地域情報誌	○	出品者の高齢化は切実だが、若い世代の出品を広げるべく、高等学校への募集要領の配布の工夫を行った。また、受賞作品展では、招待状、ポスターを作成するなど集客に努めた。	B
文化国際課	【芸術文化普及事業】 マドカ合唱祭開催事業			Ⅱ-1								○	市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにすることを目的として開催している。一般の個人も参加できるオープニング合唱は引き続き中止としたが、エンディング合唱は今年度より再開した。(参加27団体、478名)	事業のPR、観客マナーの向上、出演者の高齢化への対応。例年7月に開催していたが、次年度より3月開催となるため、準備開始時期などスケジュールに注意が必要。	事業の内容を工夫、充実していき、合唱祭の活性化を図る。	○	○	○	○				マドカ合唱祭実行委員会、テレビ岸和田	118	○		○			○	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	A
生涯学習課	【青少年活動事業】 フレンドシップコンサート事業		○	Ⅱ-1	Ⅰ-4						○	○	青少年音楽団体の研鑽と交流を図り、地域の音楽活動を推進するとともに、青少年文化の向上を図ることを目的とし、6月に浪切ホールにて開催している。参加団体(市内の学校や青少年による吹奏楽・合唱グループ等)で構成する実行委員会が企画・運営を行っている。 14団体が参加。	実行委員会による自主的、主体的な企画・運営を目指しているが、団体の役割分担の調整が必要。	より一層、参加団体が主体となり、企画・運営ができるようにしていく。	○	○	○	○				フレンドシップコンサート実行委員会	590	○		○			○	実行委員会形式で運営することにより、青少年と成人それぞれの活動団体の交流となり、青少年にとっては、未来の活動の支えとなっている。	A
文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化祭開催事業			Ⅱ-1	Ⅱ-5							○	自主的に岸和田市民が行う文化活動の成果を発表する機会をつくり、発表者と鑑賞者相互の交流を深めることにより、文化活動に対する意識の高揚と、文化の振興を図ることを目的とする。引展示部門:参加申込20団体・出品数4,141人、舞台部門・参加申込22団体・出演者数1,477人、来場者総数17,751人	参加者が学生と高齢者で2分化されていたが、実行委員会事務局の活躍でダンス部門が定着した。引き続き新たな部門等で中間層の参加を増やすことが必要。	引き続き、教育委員会と連携して、幼児や小中学生の参加を継続していく。中間層の参加を促すために、後継者の育成が必要。	○	○	○	○	○	教育委員会	文化祭実行委員会、文化祭サポーター	2,100	○		○		プログラムの町会への全戸配付、Nattusへの掲載	○	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A	
生涯学習課	【学級講座等運営事業】 公民館まつり事業			Ⅱ-1	Ⅱ-5	Ⅱ-6						○	公民館を利用するクラブ員や、定期講座生・家庭教育学級生などが、普段の学習や練習の成果を発表・展示する場とするとともに、参加者同志の交流・連携を図り、公民館を広く市民に理解してもらうことを目的として地域イベントとして実施。公民館利用者の増加にもつなげたい。	公民館利用者の高齢化等の理由から、役員の担い手や登録団体の減少が課題である。	実行委員会形式で当課が事務局となり協働して開催していく。	○	○	○	○				公民館まつり実行委員会	21	○		○		○	各館において、展示の部・発表の部・模擬の部にわかれて公民館まつりを行った。公民館利用者にとっては1年間の活動の発表の場として機能し、まつりを訪れた一般参加者にとっては公民館の活動について知っていただくよい機会となっている。	A	

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者						実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価			
							限 定 の 参 加 者 の み	0歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者	その他				創 造	発 表	鑑 賞	参 加	食文化 等 その他				情報発信の方法について					情報 発信 に 関 する 自 己 評 価						
																								① 市 広 報 ・ 市 HP	② 市 の SNS	③ ち ら し ・ ポ ス タ ー 類	④ 市 以 外 の HP・ SNS	※ ④ の 掲 載 先		⑤ 体 的 に 他 （ 具					
人権・男女共同参画課	【男女共同参画センター管理事業】 大宮地区公民館・男女共同参画センター合同まつり開催事業			Ⅱ-1	Ⅱ-5	Ⅱ-6							男女共同参画センター、大宮地区公民館で活動するグループ間の交流、活動発表、及び地域住民との交流を図ることを目的に11/16・11/17に開催。来場者は合計1,318名。	これまで、男女共同参画センター、大宮地区公民館に来館されたことのない方に、来ていただくための工夫が必要である。	事業の内容を工夫し、より多くの方に参加いただけるようPR方法を工夫し、地域を含めた館の活性化を図る。								大宮地区市民協議会	59								○	普段、センターにあまり来られない子育て世帯などにも多く来ていただけ、センターの周知ができた。また、男女共同参画登録グループ、大宮地区公民館登録クラブの交流の場にもなった。	A	
文化国際課	【芸術文化普及事業】 自泉会館等活用促進事業			Ⅱ-1	Ⅲ-1								市民自らが文化事業の企画制作を行い、能力の向上を図るとともに、自泉会館の活用を推進している。 今年度は、4つの事業を実施した。	特になし。	今後も継続するとともに、より多くの年代の参加、若手芸術家の育成・支援に努める。									2,000						○	岸和田文化事業協会HP、Facebook		○	今年度も様々なジャンルの事業を実施し、たくさんの方に楽しんでいただけた。	A
廃棄物対策課	【一般廃棄物処理計画推進事業】 一般廃棄物処理計画進行管理事業（標語・ポスター入選作品の表彰・展示）			Ⅱ-1	Ⅲ-3	Ⅰ-3							まちの美化、青少年の健全育成、緑の保全及び推進について標語・ポスターを募集。標語168点、ポスター255点の応募があり、標語20点、ポスター30点を入選作品とし、表彰及び展示を行った。	特段なし。	市内各校から広く応募できるように工夫しながら、応募数が増えるようにしたい。									164							各学校に応募依頼文書を送付	○	市内の各団体が組織されている協議会の取り組みが理解され、市民に広がることを期待するためには有意義な事業であると認識している。	A	
文化国際課	【文化会館管理事業】 文化会館貸館事業		○	Ⅱ-1	Ⅲ-4	Ⅳ-3							文化活動の拠点施設として、また地域活性化の施設としての役割を果たしている。 （令和6年度 年間利用件数2,026件、利用者数84,900人）	施設の老朽化により、快適な貸館の提供が難しくなっており、対策が必要。	施設利用者の意見や要望を把握し、きめ細かい対応を行うことで、施設利用者の満足度の向上を図り、施設利用につなげていく。										○								○	コロナ以降の大きく落ち込んだ利用状況も回復しつつあり、文化祭や発表会の場として秋以降のホールの利用が定着。文化芸術の教室としても活用されている。	A

Ⅱ-2. 高齢者、障害者等の文化活動の充実

担当課	事業名	R 6 年 度 新 規 事 業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価		
							限 定 の 参 加 者 の み	0歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加				食文化 等 その他	情報発信の方法について							情報 発信 に 関 する 自 己 評 価	
																								① 市 広 報 ・ 市 HP	② 市 の SNS	③ ち ら し ・ ポ ス タ ー 類	④ 市 以 外 の HP・ SNS	※ ④ の 掲 載 先				⑤ 体 的 に 他 （ 具
図書館	【図書館運営事業】 障害者サービス事業			Ⅱ-2							○	毎月、岸視協だよりに掲載していただく「点字図書・録音図書貸出状況」の原稿作成、年に4回、声の新着図書案内の原稿作成(制作・配布は、朗読ボランティアひばりの協力で、岸和田市視覚障害者協会に委託)。録音図書(製作は朗読ボランティアひばりに委託)製作依頼、予約、取寄、貸出、国立国会図書館視覚障害者等用送信サービスへの提供、宅配。対面朗読。	障害者サービスを必要としている方への周知。	障害者サービスを必要としている方が、利用できる形で資料の提供。						○			岸視協、点訳ボランティア、朗読ボランティア、社会福祉協議会	319			○			○	各関係団体の協力により、障害がある方への図書の情報提供や貸出ができた。	A
福祉政策課	【老人クラブ運営支援事業】 高齢者趣味の作品展事業			Ⅱ-2			○				○	高齢者(岸和田市内に在住する概ね60歳以上の者)の豊かな経験と知識を活かし、生きがいや文化水準の向上、社会参加の促進を図るため、趣味の作品(短歌、俳句、川柳、俳画、書、陶芸、写真、絵画、手芸)を募集し、11月12日～14日の3日間、南海浪切ホールにて展示を行っている。	限られた予算での事業のため、展示会場の設営準備作業等を外注できず、苦慮している。	更なる世代間交流(特に若い世代)を図れるよう、事業内容を工夫、充実していく。	○	○	○	○					500	○		○			○	幅広く認知された事業であり、継続していくことが必要。	A	

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
障害者支援課	【地域生活支援事業】 点字図書給付事業			Ⅱ-2							○	情報を主に点字によって入手している視覚障害者(児)へ点字図書を給付。 実績:登録者に対し、点字新聞を年間約50冊配布(登録者3人)	特段なし。	今後も継続する。				○			48	○					障害手帳取得者へ配布している福祉のしおりに記載	○	障害者の日常生活用具の一つとして配布している。	A	
福祉政策課	【老人クラブ運営支援事業】 校区老人クラブ運営支援事業 (生きがいと健康づくり推進)			Ⅱ-2	Ⅱ-7		○				○	高齢者(市労連に加入する単位老人クラブを対象)の社会活動や地域活動、スポーツ・文化・娯楽活動等の健康増進活動の促進を図っている。	趣味の多様化のため、一部では、限定された参加者での活動となっている。	主体的に活動する人員への支援、育成及び世代間交流を図る。		○	○	○	○			2,861			○			○	○	コロナ禍のなか、感染拡大防止のため一部活動中止となる影響もあったが、各単位老人クラブにおいて創意工夫を図り実施している。	A

Ⅱ-3. 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催

担当課	事業名	R 6 年 度 新 規 事 業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性 》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2					事業全体の自己評価	自己評価				
							限 定 の 参 加 者 の み	0 歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加	食文化 等 そ 他	市(担当課以外の 課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報 発信 に 関 する 自 己 評 価			
																								① 市 広 報 ・ 市 HP	② 市 の SNS	③ ち ら し ・ ポ ス タ ー 類	④ 市 以 外 の HP・ SNS				※ ④ の 掲 載 先	⑤ そ の 他 (具)	
文化国際課	【浪切ホール及び旧港地区 立体駐車場指定管理事業】 浪切ホール及び旧港地区 立体駐車場指定管理事業		○	Ⅱ-3	Ⅲ-4	Ⅳ-3						○	文化活動の拠点施設として、また地域活性化の中核的な施設の役割を果たし、「地域の文化力」を高める事業展開を図るため、民間のノウハウを活用する指定管理者制度を導入している。 (令和6年度 年間来館者数 433,173人 企画事業数 44事業)	貸館事業において、コロナ禍以降のリモート会議の定着や在宅勤務制度などの社会環境や生活様式の変化などにより、利用状況が以前の状況に戻らない状況が続いている。	引き続き、施設の予約受付時や施設利用時などに、施設利用者の意見や要望を把握し、きめ細かい対応を行うことで、施設利用者の満足度の向上を図り、施設利用につなげていく。	○	○	○	○	○			南海・テレ岸グループ	267,010			○	○	指定管理者HP	広報紙「Nami Nami」、会報誌「Nami Tomo」	○	来館者数については、指定管理者が目標としていた50万人には、至らなかったものの、企画事業数、企画事業入場者数は、目標達成できている。	A

Ⅱ-4. 文化団体への支援

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
文化国際課	【文化団体支援事業】 文化団体支援事業			Ⅱ-4			○					○	特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを協同して推進している。	各文化団体会員の高齢化が進んでいるため、後継者となる若い世代の育成が必要。	各文化団体の特色を生かした活動を今後も継続し、団体の活動内容を広く知ってもらう。	○	○	○	○			2,410		○	○			○	団体活動の一部を支援できた。	A	

Ⅱ-5. 文化事業への市民参画および文化交流の促進

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
図書館	【図書館運営事業】 図書館活動企画事業 (友の会支援事業)			Ⅱ-5	Ⅱ-6						○	運営委員会(毎月1回)各教室、(文章、詩、短歌、俳句、岸和田再発見、戯曲)(毎月1回程度)総会の開催、図書館まつりへの参加、文学歴史散歩、史跡を歩くツアー、公開講演会等の開催6回、友の会ニュース(年4回)の発行。	会員の高齢化が著しいため、新規会員を確保する必要がある。	市民が興味・関心を持ち、参加してもらえる活動を続けていくことが今後の目標である。		○	○	○			図書館友の会	75	○		○			○	団体の自主的な活動により、事務局は、後方支援に努めた。	A	

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価			
							限 定 の 参 加 者 の み	0歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加				食文化 等 その他	市(担当課以外の 課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報 発信 に 関 する 自 己 評 価		
																										① 市 広 報 ・ 市 HP	② 市 の SNS	③ ち ら し ・ ポ ス ター 類	④ 市 以 外 の HP・ SNS				※ ④ の 掲 載 先	⑤ 体 的 の 他 (具
図書館	【読書活動事業】 お話配達事業 (読書会支援)			Ⅱ-5	Ⅱ-6						○	地域で行われる読書会に対し、希望する本を提供し、市民の図書への理解等を支援した。	読書会の減少とメンバーの高齢化。	新規会員の募集はしているが、実際のところ増えていないので、友の会、図書館まつりなど既存の活動とも合わせて広げていく可能性を探る。								○						△	専門的な選書で本の確保が難しいが、協議を重ねることで、良い関係性が保たれている。	B				
図書館	【図書館運営事業】 図書館行事開催事業 (図書館まつり開催事業)			Ⅱ-5	Ⅱ-6	Ⅰ-2					○	令和6年度の図書館まつりは、10月20日(日)に開催した。本のリサイクル市をはじめ、喫茶コーナー、落語会、ミニおはなし会、おりがみ、手作りワークショップ等を開催し好評であった。参加者は719名であった。	メンバーの高齢化による体力的問題とスタッフ募集の拡充。	図書館内だけの事業だけでなく、市全体にむけたイベントの参加やPRの拡充。スタッフそれぞれが自主的に活動できるしくみづくりが今後の目標である。	○	○		○	○					○			○		○	図書館まつりへの新たなボランティアスタッフの参加で、今後のビジョンに沿った活動が期待できる。メンバーの絆も深まり自主的な活動が生まれ、これからの図書館運営に連携した取組ができることが目標である。	A			

Ⅱ-6. 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性 》			対象者						実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価		
							限定の 参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)		情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価				
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)	
生涯学習課	【学級講座等運営事業(文庫事業)】 公民館文庫事業、公民館親子文庫事業		○	Ⅱ-6	Ⅰ-2			○	○			○	読書を通し市民同士がふれあいを深める場とするとともに公民館活動の振興、充実を図るため、図書の貸し出し、整理、読書指導、おはなし会、お楽しみ会等を行っている。光陽おやこ文庫(20回244人)、城北おやこ文庫いずみの会(44回361人)、光明とんぼ文庫(49回1288人)、新条文庫なかよし(48回783人)に委託し実施している。	・後継者不足 ・周知不足 ・本の選定	実施場所である公民館、近隣の小学校、保育園、保育所と連携を取りながら、文庫活動の活性化を図る。地域にも周知をはかり、利用しやすい環境を作る。	○				○				各文庫に委託	210	○		○			○	31年度から年1回の交流会を文庫活動のある地区館で開催。直接他の文庫の様子を見ていただく良い機会となっている。令和6年度は、お話会やコンサート等のイベント実施によって、利用者が増えた。	A
生涯学習課	【学級講座等運営事業(学級講座等)】 学級講座等運営事業、公民館活動団体支援事業、近畿公民館大会参加事業、高齢者大学運営事業、女性学級運営事業、家庭教育学級運営事業		○	Ⅱ-6	Ⅰ-2			○	○			○	自主的なグループ活動の育成や学習課題の啓発・学習機会の提供を目的とし、定期講座及び短期講座をおこなった。 市立公民館では定期講座「カリグラフィー(西洋書道)」(10人受講)等、短期講座では「～食品サンプル～カワイイミニかき氷を作ろう～」(36人受講)、「子どもネイアートと爪のケア～指先からキラキラ。だって夏休みだもん～」(10人受講)、「スライムアート講座」(6人受講)、等を実施した。 大宮地区公民館では定期講座として「唇のごはん～暮らしの歳時記～(実習編)」(15人受講)、「大人の塗り絵」(12人受講)、「初心者ウクレレ」(12人受講)を実施した。	講座の周知方法の検討(SNSによる情報発信) 公民館事業を知ってもらうために、集客を見込める事業を行う必要がある。	各世代に応じた講座を企画し、公民館活動への参加を促す。また市民自らが学習する機会を提供する。 全世代を対象とした、公民館を広く知ってもらえる活動を行っていく。	○	○	○	○	○		各公民館	2,245	○	○	○	○		各公民館		○	子どもから大人まで、直に様々な文化・芸術に触れられるような企画を行った。 また短期講座は、夏休み期間に小学生対象のものづくり体験講座を行う等、より多くの方に来館いただけるよう企画・実施をした。	A
八木市民センター (市民センター課)	【学級講座等運営事業】 女性学級運営事業、高齢者大学運営事業、公民館まつり開催事業		○	Ⅱ-6	Ⅰ-2	Ⅱ-1		○	○		○	○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(5講座)、短期(10講座)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。 公民館まつりの開催については、分野ごとに開催期間を設定し市民の芸術鑑賞機会の充実を図った。	魅力ある学級講座運営	自主的な学習活動の支援継続、魅力ある学級講座の運営、現代的課題の解決につながる事業運営	○	○	○	○	○		生涯学習課	公民館活動団体	1,175	○		○		地元町会 自治会回覧 近隣の小学校へ配布	○	親子で参加できる講座の開催数を増やし、利用者世代の拡充に努めた。 「ベットと飼い主さんの防災講座」は、近年の防災への関心もあり、通常の講座より若い年齢層に参加してもらい開催することができた。	A	
山直市民センター (市民センター課)	【学級講座等運営事業】 家庭教育学級運営事業、女性学級運営事業、高齢者大学運営事業、公民館まつり開催事業、子どもフェスティバル開催事業		○	Ⅱ-6	Ⅰ-2	Ⅱ-1		○	○	○	○	○	公民館の講座について受講者アンケート等を実施し、生涯学習課と調整を図り、市民のニーズに合う講座や時代の変化に対応する講座、学級を開設した。	有料団体としての利用は増えているが、クラブ登録しての活動に至らない。利用者の高齢化	講座受講後に自主的な学習活動が継続できるよう促し、サポートしていく。	○	○	○	○	○		生涯学習課	公民館活動団体	1,045	○		○		地元町会 自治会回覧	○	新たに開設された家庭教育学級とともに既存の学級も活発な活動を行うことができ、公民館の活動を近隣住民に広くPRすることができた。	A	

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等 その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価		
																										①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤体的に(他) (具)
東岸和田市民センター (市民センター課)	【学級講座等運営事業】 家庭教育学級運営事業、 女性学級運営事業、高齢者大学運営事業		○	Ⅱ-6	I-2	Ⅱ-1		○	○	○	○	○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(3講座)、短期(2講座)、家庭教育学級(2学級)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。また、公民館開館日に空き講座室を利用して自習室を開放した。	利用者の高齢化により、利用者の世代に偏りがある。	自主的な学習活動への支援を継続する。活動団体と連携を図りながら事業運営を行っていく。	○	○	○	○	○	生涯学習課	公民館活動団体	954	○		○				地元町会 自治会回覧	○	魅力ある学級講座等の開催を計画実施した。また、公民館活動団体と協働し、「ミニ発表会」を開催することで文化活動の充実につながった。	A	
桜台市民センター (市民センター課)	【学級講座運営事業】 家庭教育学級運営事業、 女性学級運営事業、高齢者大学運営事業、公民館まつり開催事業		○	Ⅱ-6	I-2	Ⅱ-1		○	○		○	○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(7講座)、短期(5講座)、家庭教育学級(2学級)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。また、公民館開館日に空き講座室を利用して自習室を開放した。公民館を利用するクラブ員などが学習や練習の成果を発表する場として、公民館まつりを11月に2日間開催した。	魅力ある学級講座運営	自主的な学習活動の支援継続、魅力ある学級講座の運営、現代的課題の解決につながる事業運営	○	○	○	○	○	生涯学習課	公民館活動団体	1,046	○		○				地元町会 自治会回覧	○	自主的な学習活動の意欲を高めていくための支援や、魅力ある学級講座等の開催を計画実施した。また、公民館活動団体と協働し、「公民館まつり」を開催することで自主運営・文化活動の充実につながった。	A	
春木市民センター (市民センター課)	【学級講座等運営事業】 公民館まつり開催事業、 親子ふれあい事業		○	Ⅱ-6	I-2	Ⅱ-1		○	○	○	○	○	令和6年度は、公民館分館まつりを、秋・冬・春の3回に分けて開催した。また、定期講座として5件、短期講座として「子ども体幹教室」、その他には「はるきキッズルーム」を開催した。	参加者の自主的な参画意欲を高める	令和7年度の公民館まつりは、秋と冬の2回開催予定である。今後、文化活動の充実・発展、地域コミュニティの醸成につなげる。	○	○	○	○		生涯学習課	公民館活動団体	1,350	○		○					○	参加者の意識を高め、自主的な取り組みを定着させていくことで、事業実施の安定を図る。	A	
図書館	【図書館運営事業】 図書館行事開催事業 (ブックフェスタ事業)			Ⅱ-6	Ⅲ-5				○	○	○	○	まちライブラリー、公共図書館、書店など「本がある場所(ブックスポット)」が協力し、それぞれの場所で本にまつわるイベントを開催する。 岸和田ブックフェスタ 16企画 259名参加	特になし	図書館に限らず、他の施設や地域でも開催し、相互に交流を深められるよう展開を目指す。	○	○	○	○			ブックフェスタ実行委員会			○		○				○	企画ごとの参加は少ないが、その分、関心のあるテーマを深く掘り下げることができるので、参加者全員が楽しめる場となっている。	A	
自治振興課	【市民活動サポートセンター運営事業】 市民活動サポートセンター運営事業			Ⅱ-6	Ⅳ-3							○	市民活動の中間支援組織として、NPOを含む市民活動団体の設立や運営等に関する相談業務、市民活動団体や市民などを対象とした講座や交流会、アイデアコンテストを開催している。市民活動の情報収集や情報発信も行うなど、市民活動の活性化に努めた。	サポートセンターの認知度が低い。 団体の担い手不足の解消及び資金調達支援の充実が必要。	市民活動への関心者や参加者を増やすことで、安定した活動を市民活動団体が継続できるよう支援していく。		○		○				8,500	○	○	○	○		市民活動サポートセンターHP	○	サポートセンターの利用者が徐々に増加している。市民活動の中間支援組織として、よりよい活動が継続できるようサポートに努めている。	A		

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

Ⅲ-1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用

担当課	事業名	R 6 年 度 新 規 事 業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価		
							限 定 の 参 加 者 の み	0歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加				食文化 等 其 他	市(担当課以外の 課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報 発信 に 関 する 自 己 評 価	
																										① 市 広 報 ・ 市 HP	② 市 の SNS	③ ち ら し ・ ポ ス ター 類	④ 市 以 外 の HP・ SNS				※ ④ の 掲 載 先
健康推進課	【ウエルエージング推進活動事業】 健康づくり啓発講座等開催事業、保健計画進行管理事業、ウエルエージングきしわだ推進協議会事業、保健計画啓発事業、市民健康まつり事業			Ⅲ-1							○	ウエルエージングきしわだ推進協議会が作成したウエルレシビ(季節の食材を使ったレシピや手軽に作れる朝食レシピ)をHPで紹介。 ワクワクEXPOwith第19回食育推進全国大会への出展	健康づくりに必要な食に関する情報の効果的な発信。	ウエルエージングきしわだ推進協議会の食育に関連する関係各課の主体的な取り組みとスムーズな連携のもと食育を推進できる体制づくりができる。						○	健康保険課、農林水産課、学校給食課	食生活改善推進協議会、フリー活動栄養士会	358	○	○					○	健康づくりをととした食育については、日々の健診等の業務の中で推進できている。また、SNSを利用した啓発活動も取り入れ、広く周知できるよう取り組みを進めている。	A	
健康推進課	【食生活改善事業】 食生活改善事業			Ⅲ-1							○	食生活改善推進員の養成事業。	養成講座参加者の増加。	食のボランティアとして地域で食育を推進する人材が増える。						○		食生活改善推進協議会	14	○	○				◎	毎年、養成講座の申込者数は10人前後と少ないが、LINEでの周知により、30名の申込があった。	A		
都市整備課	【丘陵地区整備事業】 岸和田グリーンビレッジ構想推進事業 (お茶畑再生プロジェクト事業)		○	Ⅲ-1			○		○			内畑町にてかつて栽培されていたお茶畑を地元の小学生(山滝小学校)とよみがえらせるプロジェクト。㈱伊藤園を講師に迎え、1年生はお茶についての講義を受けチャノキを鉢に植える。2年生は鉢植えからお茶畑へ移植する。6年生は茶葉の加工を体験する。	お茶畑の管理及び拡充。	本プロジェクトを引き続き行いながら、関係団体と協議し、内容について工夫していく。						○	○		ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会・株式会社伊藤園	299	○	○		○	ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会HP	○	かつて地元で行われていたお茶の文化に触れる機会として貢献した。	A	
学校給食課	【学校給食運営事業】 学校給食実施運営事業		○	Ⅲ-1			○		○			行事食や郷土料理を給食献立に取り入れるとともに、指導資料を作成しその内容を伝える。また給食全体を通して食文化を含めた食育の推進に取り組んでいる。	給食予算や集団給食の範囲内での実施となる。	継続して実施することにより、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深める。						○		804,144	○		○		(指導資料) 給食カレンダー、一ロメモ	○	行事食や郷土料理を給食献立に取り入れることで、給食を通して食文化を含めた食育の推進に取り組むことができた。	A			
郷土文化課	【郷土資料等展示事業】 展示普及事業			Ⅲ-1	Ⅲ-2						○	岸和田城展示室において、郷土の歴史・文化を主テーマとした展示を実施。常設展に加えて、年4回の企画展を開催。また、八木市民センターやカンカンにおいて出前展示等も実施した。さらに8月10～12日にかけて梅田グランフロントにおいて開催されたお城フェスにおいてメインブースの展示を実施した。岸和田城耐震計画に基づき岸和田城展示基本計画を策定。	展示内容の充実化	来場者に対して本市の歴史・文化を紹介することで、文化財を通じて本市の魅力を周知し、郷土愛を育む活動を行う。					○	八木市民センター	神奈川県立金沢文庫、高石市教育委員会	7,491	○		○	○	城フェス主催事業者のHP・SNS	市内公共施設、市内学校園等	○	来場者の増加のために、理解しやすい説明キャプションを作成する等、工夫を行った。また、事業の充実を図るため、より一層の周知をしていく必要がある。	A		
郷土文化課	【郷土文化普及事業】 講座開催事業、指定文化財標柱・説明板設置事業、市史普及事業、講師派遣事業、収蔵資料貸出事業、書籍管理事業、収蔵庫展示物整理事業		○	Ⅲ-1	Ⅲ-2						○	市指定天然記念物山直神社社叢に説明板を設置。市民センターで地元に特化したパネル展の開催や小学校への出前授業を実施。当課所管資料のデジタル化等。	設置した説明板の周知。 身近な地域での講座等の拡大・充実。 資料のデジタル化の拡充。	身近な地域での講座開催や説明板を設置することにより、歴史文化財を周知し郷土愛を育む。 資料の安定的な維持管理、活用の効率化を図る。				○	○	○		山直神社	3,811							市民センターで当地域の文化財発掘に関するパネル展や歴史に関する出前講座を開催できたこと、また説明板を設置できたことは地域住民へ広く文化財を周知できた。 データ化を実施し資料活用の効率化を図れた。	A		
郷土文化課	【岸和田市地域文化財総合活用推進事業】 岸和田市地域文化財総合活用推進事業			Ⅲ-1	Ⅲ-2				○		○	令和6年度は、文化庁の地域文化財総合活用推進事業補助金の交付を受けて、市内5台のたんじりに対し、合計 696万円の補助を得て各町がたんじり用具の修理を実施することができた。	補助を希望する台数の増加。	文化庁が補助金の制度を継続し、事業団体から要望があれば今後も補助金申請の支援を行う					○		応募のあった市内5町					町会周知	○	事業団体が直接文化庁に申請する国費補助であり、市は補助金申請の支援ができるのみであるが、補助の結果、市への貢献は大きい	B				

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価		
																										①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類				④市以外のHP・SNS	※④の掲載先
郷土文化課	【文化財保存支援事業】 指定文化財保存会支援事業、土生鼓おどり、かつらぎ踊り			Ⅲ-1	Ⅲ-2				○		○	民俗文化財の継承、保存のための補助金の交付。また、府指定民俗文化財である葛城踊りで使用される太鼓修理に伴う補助金の交付。	文化財の継承並びに後継者の育成。	指定文化財が後世へより良い形で継承、保存していけるように、保存会並びに所有者への支援を継続していく。	○	○	○	○			土生町鼓踊り保存会、塔原町葛城踊り保存会	931							○	今後も保存会、所有者との連携の強化、保護に努めたい。	B		
郷土文化課	【濱田青陵賞事業】 濱田青陵賞運営協議会の運営、濱田青陵賞選考委員会の運営、授賞式式典の実施、記念シンポジウムの開催			Ⅲ-1	Ⅲ-2							令和6年度も有観客開催と並行してYoutubeでの動画生配信を行った。観客数は会場に200名程度、動画再生回数は当日約400回、その後の総再生回数は5200回を超える。質の高い内容を有観客、動画と多くの方にご覧いただくことができた。	事業の周知方法。	考古学の学術文化賞では最高位の賞であり「考古学の芥川賞」と呼ばれる賞として認知度、ネームバリューを活かした観客のさらなる裾野の拡大を目指す。		○	○				朝日新聞大阪本社文化部	2,796						朝日新聞の紙面	○	従来の有観客と並行して濱田青陵賞運営協議会でYoutubeチャンネルを開設し運営するなど、新しい開催形態を提示、運用できた。	A		
文化国際課	【自泉会館指定管理事業】 自泉会館指定管理事業		○	Ⅲ-1	Ⅲ-4	Ⅱ-3					○	国の登録有形文化財である建物を保存・継承し、音楽堂としてのホールの特性や小規模な展示場を活かし、市民が身近に文化・芸術に触れる機会を提供するため、指定管理者制度を活用して、市民文化団体に運営を任せている。(令和6年度年間来館者数 15,390人 見学者909人)	後継者不足等の理由により、現指定管理者である岸和田文化事業協会が令和7年度をもって解散することとなり、今後の事業展開に不安がある。	令和8年度からの新たな指定管理者のもと、館の役割を踏まえた市民の文化・芸術活動の展開を図る。	○	○	○	○			岸和田文化事業協会	12,500	○		○	○	自泉会館HP・Facebook	情報誌めーべる・ふおんてーむ	○	ホールの特性を活かした市民が気軽に楽しめる演奏会・若手音楽家育成を目的とした事業、展示室では写真・講演会を実施し、市民が身近に芸術に触れる機会を提供できた。また、利用者数・使用料金収入共に昨年より増加している。	A		
観光課	【岸和田城指定管理事業】 岸和田城指定管理事業			Ⅲ-1	Ⅲ-4	Ⅲ-5					○	岸和田城の歴史に関する事業を実施。また、復興天守70年記念事業として季節に応じてイベントを実施。天守閣望楼においては、岸和田城ウエディングを通年実施している。	入場者数が伸び悩んでいる。施設設備の老朽化が顕著である。	岸和田城リニューアルに向けてクラウドファンディングを実施し、未来に残り愛され続ける城の実現を目指す。				○	○	○	水とみどり課・郷土文化課	岸和田市観光振興協会	21,870	○	○	○	○	観光振興協会SNS・岸ぶら	○	岸和田城は、本市のシンボルであり歴史・文化・観光の拠点として位置づけられており、関係機関とも連携し、岸和田城の付加価値を高める取り組みを行っていく必要がある。	B		
観光課	【城周辺整備計画推進事業】 城周辺整備計画進行管理事業、大阪ミュージアム構想推進事業			Ⅲ-1	Ⅲ-5						○	石畳と淡い街灯まちづくり支援事業により整備された岸和田城周辺地区において、お城まつりなどのソフト事業を実施することで、交流人口の増加による賑わいの創出に取り組んだ。	次期岸和田城周辺整備計画の策定	ソフト事業を継続実施するとともに、次期計画の策定については、市庁舎建替えの方向性がある程度見極められた段階で検討していく。				○	○		公園緑地課・郷土文化課	岸和田市観光振興協会							市庁舎建替えの方向性が示されたことにより、休止していた本計画も再開を検討する。	C			
農林水産課	【農業振興事業】 食の磨き上げ事業			Ⅲ-1	Ⅲ-5			○	○		○	大阪・関西万博を契機とした、市内農水産物の磨き上げを実施。令和6年度は第二弾岸和田黒鯛フェアを実施し、市内7飲食店で約2,000食を提供した。	参加する飲食店舗数の増加が必要。	参加する飲食店舗数の増加の施策を進めたうえで、第三弾岸和田黒鯛フェアを実施予定。	○			○	○		観光課	大阪観光局、KIX泉州ツーリズムビューロー、岸和田市観光振興協会、JALいずみの、春木漁業協同組合、岸和田市漁業協同組合、岸和田商工会議所、大阪府	4,500	○	○	○			○	これまであまり食卓にならぶことの少なかった黒鯛を市内外に周知し、昨年度よりも多くの食を提供できたことから、一定の反響があった。	A		
観光課	【観光振興事業(歴史街道等)】 歴史街道推進協議会事業、全国城郭管理者協議会事業、観光情報発信事業、牛滝山等清掃委託事業、			Ⅲ-1	Ⅲ-5	Ⅱ-7					○	歴史街道推進協議会では岸和田高校、和泉高校の学生と関西の留学生との城及び周辺施設視察と交流ワークショップを内容とした日本文化体験プログラムを実施。(高校生8名、留学生17名) もみじ祭りに合わせ日本葛城修験認定5周年記念イベントとして、大威徳寺 法師品(第十経塚)講座を実施。 (第1回:20名、第2回:13名)	参加者が少なく、イベント募集の方法を検討していかねかねばならない。	積極的な市民参加により、通年事業として継続できるようにする。	○	○	○	○			岸和田市観光振興協会、歴史街道推進協議会、葛城修験日本遺産活用推進協議会	1,449	○	○	○	○	YAMAP	△	事業の内容は良いものの、参加者が思うように集まらなかった印象。情報発信の強化に取り組み、参加者数を増加させる必要がある。	B			

Ⅲ-2. 伝統行事の保存・継承

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について								情報発信に関する自己評価
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先	⑤その他(具)			
観光課	【だんじり祭支援事業】 だんじり祭後方支援事業、岸和田だんじり祭運営協議会事業、地車祭保存会支援事業			Ⅲ-2							○	観光客の受入体制整備を行った。また、だんじり保存会への補助金を支出した。	観光客の一種集中化 ゴミ・トイレ・駐車場などの受け入れ環境の整備。 また、熱中症対策についても対策をしていかなければならない。	観光客の受け入れ体制を整えるとともに、だんじり祭を側面・後方から支援することによって、明るく楽しい市民の祭にしていく。	○	○	○	○			岸和田市観光振興協会、岸和田地車祭保存会、祭礼各団体	41,677	○	○	○	○	岸ぶら	○	伝統的地域文化の継承を図るとともに、市民はもとより観光客に気持ち良く楽しい祭と感じてもらえるよう、関係団体とも連携し、祭の一層のブランド力の向上を目指す必要がある。	B		
観光課	【だんじり会館指定管理事業】 だんじり会館指定管理事業			Ⅲ-2	Ⅲ-4	Ⅲ-5		○			○	指定管理者の自主事業でミニだんじり曳き回しイベントやだんじり小屋巡りウォークなどだんじり文化をPRするイベントを実施。だんじり祭に関わる文化の発信に努めた。	だんじり会館リニューアルに伴い受け入れ環境の整備が必要。	指定管理者と連携し、全国的に知名度のある「だんじり」という他にない資源を最大限に魅力発信し、年中通じて活用できるブランド化に取り組む。				○	○			岸和田市観光振興協会	56,430	○	○	○	○	観光振興協会SNS・岸ぶら	○	指定管理者や祭礼団体と連携し、だんじり文化に関するワークショップや展示に引き続き取り組んでいく。	B	

Ⅲ-3. 自然環境や景観との調和

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価		
																										①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他の(具)
都市整備課	【丘陵地区整備事業】 岸和田グリーンビレッジ構想推進事業 (里山環境保全)			Ⅲ-3							○	本事業では都市・農・自然が融合したまちづくりを推進しており、事業の一環として丘陵地区に生息するフクロウをシンボルとして里山環境の再生保全を目的としてフクロウの森再生プロジェクトを実施している。自然エリアでは良好な里山環境の保全と創出を目指している。	広報活動の強化。	継続してイベントを実施することにより、市民の自然への関心を高める。									635	○	○		○	ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会HP		○	イベントを通じて、取組みの趣旨を伝えることには一定の効果があつた。今後は市主導の運営体制から協議会主体で取組みを進めてもらえるような組織体制の構築が必要。	A		
都市計画課	【景観形成市民団体支援事業】 岸和田駅東地区景観まちづくり協議会支援事業			Ⅲ-3			○				○	岸和田駅東地区について、市の玄関口に相応しい、建築物と道路が調和した美しい魅力あるまちとするため、同地区内で活動する市民団体(岸和田駅東地区景観まちづくり協議会)への支援を実施。当該団体では、駅東沿道を花のプランターで彩るための花いっぱいプロジェクトを東光小学校・緑化協会と共同で行っている。この他、春と秋に地区内景観向上を目的とした美化活動(ゴミ拾い・落書き除去)も実施している。	支援している団体における役員は、関係3町会から選出されていたが、令和6年度中に1町会が脱退したため活動の参加者数が減少した。また、各町会での任期が1～2年のため、団体活動の主旨や目的が継承されにくい傾向にある。	団体の自主性を損なわないよう、情報収集・提供などの後方支援に努める。 (景観まちづくり団体のた事例等の情報収集と提供)	○				○			廃棄物対策課、東光小学校	岸和田市公園緑化協会	100	○					テレビ岸和田	○	対象団体の支援を実施することにより、岸和田駅東地区が市の玄関口に相応しい、建築物と道路が調和した魅力ある美しいまちとなること及び住民が快適に生活できる「歩く人の視点に立った、ゆとり・潤い・華やかさ」のあるまちとなることに寄与している。	A	

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重点 目標 1	《基本目標・各方向性 》			対象者				実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価					
							限定の 参加者のみ	0歳～就学 前	小学生 以上	妊産婦				障害者・高 齢者	その他	創造	発表				鑑賞	参加	食文化 等その他	市(担当課以外の 課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報 発信に 関する 自己 評価		
																										①市広 報・市 HP	②市 のSNS			③ち らし・ ポス ター 類	④市 以外 のHP・ SNS		※ ④の 掲 載 先	⑤そ の 他 (具)
郷土文化課	【自然資料館普及・展示事業】 企画展開催事業、講師派遣事業、室内講座等実施事業、野外観察会実施事業、自然関連冊子発行事業、展示品整備事業、特別展開催事業、自然資料貸出事業、調査・研究事業、自然資料収集・整理・保管事業、きしわだ自然友の会支援事業、ブナ林保全事業		○	Ⅲ-3	1-3		○	○		○	○	身近な自然の多様さを学び、郷土の自然と自然保護への理解を深め、地球環境や自然科学についての関心を高めるため、野外観察会や室内講座、展示等の事業を実施した。 野外観察会、室内講座等参加者数4,981人 特別展、企画展 入場者数11,382人	学校園との連携強化。 対面とオンラインを効果的に組み合わせた行事、出前授業等の継続。 部内連携による子育て支援等の社会的課題解決につながる取り組み。	事業内容の質的向上を図りつつ、自然環境の保全や科学技術、博物館、SDGs等に市民の関心を得るよう取り組む。	○			○	○		図書館、スポーツ振興課、生涯学習課及び地区公民館・青少年会館、市民センター、産業高校、環境保全課	近隣博物館、関連の自主活動グループ、NPO大阪自然史センター、きしわだ自然友の会、(公財)大阪府都市整備推進センター、共和海建(株)、(株)日立ハイテク、蜻蛉池公園、神於山保全くらぶ、岸和田郡連会、日本野鳥の会大阪支部等	7,319	○	○	○	○	きしわだ自然友の会HP、X、Facebook	Natts、読売新聞、日本経済新聞紙面	○	普及・展示事業には多くの参加者があり、年間入館者数は2万人を超えた。出前授業も対面実施が主流となったが、事前打ち合わせ等では、引き続きオンラインも有効に活用した。	A		
都市計画課	【景観形成事業】 景観形成推進事業			Ⅲ-3	Ⅱ-7						○	住み良い文化的で潤いのある美しいまちを創出するため、岸和田らしい景観を保全形成を目指す啓発事業の取組の1つとしてこれまでに指定している、ここに残る景観資源を活用した景観啓発事業を実施している。 令和6年度は、市内公共施設等で、ここに残る景観資源の写真やエピソード等を展示した「ここに残る景観展」、景観資源に関する出前講座(箕土路青少年会館)、アスマイルを活用したデジタルウォーキングイベント等を行うなど、景観啓発に取り組んだ。	発掘した資源を広く周知し、市民の景観に対する意識や地域への愛着の向上を図る。	様々な情報ツールを活用して、広報を強化するとともに、観光・教育や環境部局との連携を図り、幅広い年齢層への啓発を図っていきたい。					○	○		東岸和田市民センター、春木市民センター、桜台市民センター、八木市民センター、山直市民センター	商工会議所、テレビ岸和田	913	○	○	○	○	映える大阪プロジェクト	テレビ岸和田番組表 (Vision)	○	ここに残る景観資源発掘プロジェクトは令和4年度で終了。今後はこれらの蓄積した景観資源を活用した啓発に努めたいと考えている。	A	
都市計画課	【歴史的景観保全支援事業】 歴史的景観保全支援事業 (家屋修景助成)			Ⅲ-3	Ⅱ-7						○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区における家屋修景に対して支援を実施。	地区内の住民や町並み保全活動団体の理解と協力により歴史的町並みが保たれているが、可能性は低い理解の無いデベロッパーなどによる無秩序な開発行為が行われる懸念が残っている。	歴史的まちなみやこれと一体となり歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において家屋修景への支援を継続して行う。				○			歴史的町並み保全基金運営委員会、本町のまちづくりを考える会	1,000	○						○	歴史的まちなみ保全地区において家屋修景を行うことにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A			
観光課	【まちづくりの館指定管理事業】 まちづくりの館指定管理事業			Ⅲ-3	Ⅲ-1	Ⅲ-5					○	観光パンフレットの配架などにより、岸和田の文化・観光に関する情報を発信した。また、四季折々の展示を行う歳時記プロジェクトを開催し郷土文化の継承を実施した。	歴史文化を発信する拠点となるような事業展開が必要。 インバウンド対策。	周辺施設と連携し、城下町としてのにぎわいを創出する。翻訳機の導入等により、すべての利用者が目的に応じた情報を得る事ができる。			○			都市計画課	本町のまちづくりを考える会	7,850	○			○	本町のまちづくりを考える会SNS		○	親切・丁寧な対応で来館者にもてなしを実施している。インバウンド対策として、受け入れ環境の整備が必要。	B			
都市計画課	【歴史的景観保全支援事業】 歴史的景観保全支援事業 (団体活動支援事業)			Ⅲ-3	Ⅲ-5		○					住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において景観啓発に寄与する活動を行う団体(本町のまちづくりを考える会)に対して支援を実施。考える会は様々な活動を行っているが、令和6年度は、地区内の掲示板や案内板を修景する掲示板・案内板プロジェクトのほか、地区内民家軒下に風鈴を設置して彩る活動や美化清掃などを実施した。	歴史的町並み保全区域の本町は、流入人口が少ない地域のため、団体役員の担い手はもとより、会員も現象傾向にある。	団体の自主性を損なわないよう、情報収集・提供などの後方支援に努める(歴史的町並み保全活動事例、古民家活用事例、まちづくり活動事例、世代交代や次世代育成に関する事例等の情報収集と提供)	○	○	○	○		本町のまちづくりを考える会、歴史的町並み保全基金運営委員会	100	○	○	○	○	まちづくりの館ホームページ		○	対象団体の支援を実施することにより、歴史的まちなみ保全地区における景観啓発が実施され、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A				
都市整備課	【丘陵地区整備事業】 岸和田グリーンビレッジ構想推進事業 (竹まつり開催事業)			Ⅲ-3	Ⅲ-5						○	地域資源である「竹」をひとつの財産として考え、産官学民連携し地域主体で、継続的なイベント(竹資源の活用や循環を発信)を目指し、岸和田市の魅力をゆめみヶ丘岸和田から発信する。	広報活動の強化。 継続して実施するための運営体制構築。	継続してイベントを実施することにより、岸和田の自然を広くPRする。				○		ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会		○	○	○	○	ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会HP		○	イベント準備の段階から取組みに関心のある人と繋がることができ、岸和田の魅力を広く伝えることは一定の効果があった。今後は自立した運営体制の構築が必要。	A				

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価		
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
環境保全課	【自然環境保全事業】指導・啓発事業、神於山里山保全事業			Ⅲ-3	Ⅳ-1						○	里山保全のボランティアに関心のある人に対し、里山及び里山保全活動に関する知識及び技術の基礎を講習することで、里山保全活動の担い手を育成した。 申込者数 21人	高齢の受講者が多く、修了後ボランティアとして活動が難しい人が多い。	里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化を目指す。 令和6年度は年齢制限を75歳未満とした。 若年層の受講者を増やすために今後は高校生などに門戸を広げることも必要である。				○	○				273	○		○			○	ほぼ計画どおり講座は開催された。 引き続き事業を継続することで、里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化が推進すると思われる。	A

Ⅲ-4. 文化施設の整備

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	「基本目標・各方向性」			対象者						実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価				
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)		情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価						
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的)			
観光課	【五風荘指定管理事業】 五風荘指定管理事業			Ⅲ-4	Ⅲ-1	Ⅱ-7						○	五風荘の通常営業に加え、お城まつりでは泉州の物産展開催時に合わせて八陣の庭でライトアップを実施。 また、天守閣望楼においては、岸和田城ウエディングを通年実施している。	飲食店利用者の増加を目指す事と施設の維持管理。	施設の修繕・整備。歴史的建造物の有効な活用の実現。			○										○	○	水とみどり課、郷土文化課	岸和田グランドホール		◎	施設を活用した事業展開や周辺施設と連携が必要。	B

Ⅲ-5. イベントを活用した魅力あるまちづくり

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価		
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)	
公営競技事業所	【周辺環境整備支援事業】ファミリータ涼み会開催事業		○	Ⅲ-5	Ⅰ-2						○	地元町会や関係各所の協力のもと、様々な店舗出店やプレゼント抽選会等を実施し地域住民の交流の場を提供する。	特段なし。	今後も引き続き実施し地域住民への還元を行うとともに、競輪事業への理解獲得に努める。			○	○	○			ふあみりータ涼み会実行委員会 外	7,582	○			○	○	岸和田けいりん公式HP		○	多数の方に来場いただき出店数も大きく変わることなく実施できた。	A
都市計画課	【まちづくり支援事業】エリアマネジメント支援事業、エリアマネジメント啓発事業、中心市街地活性化支援事業			Ⅲ-5	Ⅱ-6						○	日常生活の中で誰もが利用する「駅」周辺を、地域住民を含めた関係者(鉄道・バス事業者、商店街、学校等)と行政が協働して「美しく個性がきらめき、魅力ある空間に再生」し、まちの活性化につなげていくプロジェクトを実施している。4月に参加者の方に、「ハンギングバスケット花苗配布」を行い、5月に「ガーデニングショー」でそれぞれが育てた作品を展示し、駅周辺の活性化をした。	活動母体である「地域の魅力づくりプロジェクト＜東岸和田東地区＞住委員協議会」は協議会設置時に防災街区整備事業組合から受けた寄附で活動を継続している。ただ、収入源がないため、いずれ運営資金が枯渇するため、活動の見直しが必要。	現状の活動について、地域住民や近隣事業者へのPRと活動への参加を促し、交流促進と駅周辺の活性化と価値の維持向上を図る。また、協議会メンバーで新たな活動展開について協議を進める。		○	○	○	○		東岸和田市民センター、旭小学校、太田小学校	旭・太田市民協議会、旭校区連合町会、太田校区連合町会、リハープ全体管理組合、大阪府岸和田土木事務所、近隣学校、駅周辺事業者等	80	○	○	○				○	活動に地域住民を含めた関係者が関わることで、交流促進につながり、顔の見える関係性の構築につながっている。また、小中学生達の文化事業の充実にも寄与している。ガーデニングショーは、駅周辺の活性化に寄与し、周辺住民に幅広く認知されており、毎年楽しみにしているという声も多い。	A	
企画課	【中心市街地活性化事業】中心市街地活性化事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7						○	岸和田市中心市街地活性化基本計画に沿って、各種事業を推進している岸和田TMO(商業まちづくり機構)、商工会議所等との共同事業として開催するイベントへの参画。	岸和田TMOとの関わり方や、部会事務局としての役割について整理が必要。	関係各課と連携し、中心市街地の活性化が図れるよう支援していく。		○	○	○	○		産業政策課・都市計画課	岸和田TMO、岸和田商工会議所	(TMO支援事業として産業政策課の支援有)	○	○	○	○	どんチャカフェスタのインスタ		○	各種事業について、庁内関係部局と連携しているところではあるが、より効果的な取組を実施するため、更なる連携強化が必要。	A	

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加				食文化等その他	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価		
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他（具）	
広報広聴課	【シティセールス推進事業】 シティセールス推進事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7							○	岸和田のファンの方が、写真や動画という方法を用いて、岸和田市の魅力を発信できるよう、市主催の動画・フォトコンテストを開催し、市民をはじめ809作品の応募があった。	岸和田のファンの方が、引き続き写真や動画をとおして岸和田市の魅力を発信したいと思う仕組みが必要。	岸和田市のファンの方が、写真や動画をとおして岸和田市の魅力を発信できるよう、コンテスト等の取り組みを継続していく。	○	○	○	○			株式会社テレビ岸和田	3,300	○	○	○	○	きしいくHP、コンテスト情報HP	○	計画どおりに事業を行うことができた。	A		
農林水産課	【農業振興事業（農業まつり等）】 農産物ブランド化支援事業、農産物品評事業、エコ農産物推進事業、農研クラブ支援事業、果樹振興会支援事業、認定農業者協議会支援事業、大阪版認定農業者支援事業、畜産連絡協議会支援事業、農業体験事業、農業まつり開催事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7			○	○			○	市民の農業に対する理解や認識を深め、農業振興に資するため農業まつりを開催する。 農業者の表彰、展示即売会、試食会、ステージ企画等を行い、農産物等の紹介、農林業の啓発と都市住民との交流等の機会の提供。 令和6年度の入場者数は約16,000人	昨年度の課題であった車両の誘導・駐車場については、関係者の協力もあり混乱もなかった。 今後も実行委員会等で各団体と協議をしながら課題点等の抽出、解消を行う。	企画内容の工夫などをしていき、農業まつりの活性化を図る。	○			○	○			JAIいずみの・大阪府・農業委員会・農業研究クラブ協議会・果樹振興会・林業活性化協議会他17団体	2,682	○		○		農協の広報紙	○	岸和田市において農業は主要な産業のひとつであり、その振興は今後も重要である。参加団体の意欲を高め、より協働できる仕組みづくりが必要。	A	
産業政策課	【港振興協会助成事業】 港まつり開催事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7							○	市民等への海事思想の普及と本市港湾の振興を図るため、帆船のレブリカ船である「威臨丸」の乗船体験事業及び海上保安庁巡視船の船内見学会を実施した。 ■乗船体験事業乗船者数 1,017人	イベント当日だけでなく、日常的に臨海部への関心を持っていたき、港湾の振興へつなげる取組みが必要。	好評である乗船体験事業を軸とし、目新しさのあるプログラムの実施や他のイベントとの同日開催及び連携を検討し、より多くの方に関心を持っていただくことのできる事業とする。	○				○			5,306	○		○			○	市内臨海部は日常生活の中で海に触れ合うことのできる場所が限られている。イベントの開催により本市の素晴らしい自然環境を認識していただくことができた。定員を超える方からの応募を受け、多くの参加者から好評いただいた。	A		
観光課	【観光振興事業（イベント開催）】 お城まつり開催事業、泉州の物産展開催事業、もみじまつり開催事業、集客イベント開催事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7							○	お城まつり期間中に城周辺にぼんぼりを設置。また一週目の土日には泉州の物産展を開催し、市内の物産展・キッチンカーを募集し 泉州地域の特産品などを販売した。 もみじまつりでは、泉州の特産品を使用した物産展を開催。	魅力ある地域資源の利活用が不十分である。 プロモーションをはじめとする効果的・効率的な情報発信が出来ていない。	イベント内容を再検討し、お城まつり期間中の城周辺賑わいが実現するようにしていく。	○	○	○	○	○			岸和田市観光振興協会	5,220	○	○	○	○	観光振興協会SNS・岸ぶら	◎	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたしており、今ある魅力を活かすため情報発信の強化に取り組み、観光客数を増加させる必要がある。	B	
公園緑地課	【神於山保全活用事業】 神於山里山保全事業		○	Ⅲ-5	Ⅱ-7	Ⅱ-5		○	○			○	アドベンチャーワールドや白浜町をはじめ産官学民が連携し、パンダバンブープロジェクト（パンダに竹の枝葉を提供し、食べない竹幹部分や食べ残した分を有効資源としてアップサイクルするプロジェクト）の推進及びその他保全活用に関する取り組みを通じて、関係人口の創出や地域産業の活性化を図る事業。	竹の資源循環を促す地域産業としての事業スキームが確立できるだけの生産コストと出口戦略のバランス。	竹の加工工場建設による地域産業の活性化、Web3.0ビジネスと連携した本市の新たな財源確保、パンダバンブーESD環境教育のより一層の充実に努める。	○	○	○	○	○		パンダバンブープロジェクト推進チーム（都市整備課・農林水産課・環境保全課・産業政策課企画課）	白浜町、株式会社アワーズ、竹イノベーション研究会、滋賀県立大学、他	10,682	○	○	○	○	パンダバンブープロジェクト特設HP（市所有） https://www.kishiwada-panda-bamboo.com/ パンダバンブーアートプロジェクト特設HP https://www.aws-pandabamboo-art/	パンダバンブーアートプロジェクトクラウドファンディングによる情報発信 https://campfire.jp/project/s/763587（目標金額を超える1,947万円を達成）	○	パンダバンブーアートプロジェクト（岸和田市の竹5,000本で巨大アートを制作する）において、想定していた以上に多くの方に参加していただき、関係人口の創出や本市の竹の魅力発信に大いに貢献することができた。 また上記プロジェクトと連携して小学生を対象としたパンダバンブーESD環境教育は次年度につながる形で進めることができた。	S
観光課	【二の丸広場観光交流センター指定管理事業】 二の丸広場観光交流センター指定管理事業		○	Ⅲ-5	Ⅲ-1			○				○	指定管理者の自主事業でダンボール甲冑作りや火縄銃ゴム鉄砲射撃大会など小学生以下を対象としたイベントを実施し、歴史文化について学ぶ機会を創出した。 また、水なす漬け体験も実施し、食文化についても学ぶ機会を創出した。 地場野菜・パン・ドリンク等の販売も実施。	城周辺施設と連携した事業展開が必要。また、飲食物を扱う為、安心安全なサービス提供の為にも管理体制の見直しが必要。	歴史・文化（食文化）・観光情報等も得る事ができ、また地域住民や観光客が交流を図る憩いの場として定着する。				○	○		水とみどり課	岸和田市観光振興協会	14,450	○	○	○	○	岸和田市観光振興協会SNS、岸ぶら	◎	市民・観光客すべての人にとって憩いの場となる必要があるもので、両者の考えを考慮しながら改善を重ねていかなければならない。	B	
観光課	【広域観光事業】 泉州観光DMO事業			Ⅲ-5	Ⅳ-3							○	泉州市町が集まる9市4町連絡調整会議へ参加し、イベントや実施事業の共有を行った。	事務局の報告がメインとなっており、泉州市町による意見交換を実施し、今後の連携に向けた取組み等の検討が必要。	泉州市町で活発的な意見交換を実施し、相互PRによる泉州地域への誘客へ繋げる。	○	○		○	○			KIX泉州ツーリズムビューロー	3,753	○	○	○	○	KIX泉州ツーリズムビューローSNS	○	積極的な議論や情報交換を行い、泉州地域をPRしていく必要がある。	B	

Ⅲ-6. 伝統工芸品などの価値発信

担当課	事業名	R 6 年 度 新 規 事 業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限 定 の 参 加 者 の み	0 歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加				食文化 等 そ 他	市(担当課以外の 課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報 発信 に 関 する 自 己 評 価
																				① 市 広 報 ・ 市 HP	② 市 の SNS					③ ち ら い ・ ポ ス ター 類	④ 市 以 外 の HP ・ SNS	※ ④ の 掲 載 先			
産業政策課	【岸和田ブランド事業】 岸和田ブランド認定委員 会事業			Ⅲ-6	Ⅱ-7						○	岸和田らしさを備えた優れた産品を岸和田ブランドとして認定し、情報発信や販売促進を推進することで岸和田市の知名度向上を図っている。令和6年度は、5品目の再認定を行った。各種イベントにおいて岸和田ブランドのブースを出展し、PRを図った。	ブランドの認知度向上。	岸和田ブランドのさらなる認知度向上のために施策を展開していく。		○	○		○			1,882	○		○	○	岸和田商工会議所、X(旧ツイッター)	○	岸和田ブランドの認知度のさらなる向上のため、多くの人の目に触れるようHP、SNSのほかパンフレットを更新し、英語版も作成。また各種イベント出展等PRを行っている。	A	

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

Ⅳ-1. 文化の担い手の育成

担当課	事業名	R 6 年 度 新 規 事 業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限 定 の 参 加 者 の み	0歳〜就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加	食文化等 その他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について							情報 発信 に 関 する 自 己 評 価
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
農林水産課	【地域農政推進対策事業】 担い手育成事業、農業次世代人材投資事業			Ⅳ-1	Ⅲ-5			○	○		○	市民参加によるじゃがいも(34組)、サツマイモ(30組)の収穫体験。	申し込みが多く抽選が必要。	事業の内容を工夫し、参加者の拡充を図る。					○	○		500	○						○	参加者の満足度が高い。	A

Ⅳ-2. 活動団体、個人の表彰制度の整備

担当課	事業名	R6年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者						実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費(千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価		
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)		情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価				
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他の(具)	
文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化祭開催事業 (文化の日祝典事業)			Ⅳ-2	Ⅱ-3							○	11月3日文化の日に、本市の文化教育の振興に貢献した方々の功績をたたえ、祝典を開催。1部では功績のあった方々への表彰式、2部では関係者以外も鑑賞できる記念コンサート「みんな大好き！アニソンファミリーコンサート」を開催。1部出席者数167人、2部入場者数144人。	祝典を広く周知するため、幅広い方々に関心を持ってもらえるような記念事業の企画が必要。年度によって入場者数のばらつきがある。	若い方の表彰も増えてきているため、熟年の方との文化交流も活発になればよい。また、「文化の日」にふさわしい事業を企画し実施していくことで、文化・芸術の推進に寄与していく。				○	○	○	教育委員会	岸和田文化事業協会	371	○		○	○	岸和田文化事業協会HP・Facebook		○	2部では、アニメソングをメインとしたコンサートを実施した。来場者には楽しんでいただくことができた。	A

Ⅳ-3. 情報の収集、発信

担当課	事業名	R 6 年 度 新 規 事 業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限 定 の 参 加 者 の み	0歳～就学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加	食文化 等その他	市(担当課以外の 課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について							情報 発信 に 関 する 自 己 評 価
																								①市 広 報 ・ 市 HP	②市 の SNS	③ ち ら し ・ ポ ス タ ー 類	④ 市 以 外 の HP・ SNS	※ ④ の 掲 載 先			
広報広聴課	【広報事業】 広報きしわだ発行事業、 声の広報きしわだ発行事業、 点字広報きしわだ発行事業、 インターネット情報 発信事業			Ⅳ-3							○	市民が文化に関する情報を得られるよう、市の広報紙「広報きしわだ」(発行部数74,500/月)やSNSにおいて文化に関するイベント及び事業の情報を適宜情報発信した。 また、広報紙においては点字版、音声版を同時に製作・公開しているほか、インターネット上でも電子版広報紙を公開し、「いつでもどんな状態の人でも」等しく情報を得られる機会を創出している。	イベントや事業の主担部署からの掲載依頼がなければ広報紙掲載が叶わない点。また、そういった状況を生む、各事業担当者の広報意識のレベル差。	各課の情報発信意識を高める機運醸成に努めるほか、引き続き広報紙等で文化活動に資する情報を発信する。					○			28,035	○	○				○	○	依頼のあった情報については、滞りなく情報発信することができた。	A
文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化・芸術による魅力発信事業			Ⅳ-3							○	市HP(文化国際課ページ)において、文化芸術に関する助成の情報を発信。	発信による効果が不明。HPのみならず、他の手法も加えるなど周知の検討が必要。	今後も継続するとともに、情報発信の手法と周知に努めていく。					○				○				○	○	助成に関する情報をHPで発信している。情報収集し、適切に更新していく。また引き続きの継続とともに周知に努める。	A	

IV-4. 文化振興基金の活用

担当課	事業名	R 6 年度 新規 事業	重 点 目 標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価
							限 定 の 参 加 者 の み	U 歳 ～ 就 学 前	小 学 生 以 上	妊 産 婦	障 害 者 ・ 高 齢 者				その他	創 造	発 表	鑑 賞	参 加	食 文 化 等 そ の 他	市(担当課以外の課名)		他団体(団体名等)	情報発信の方法について					情報 発信 に 関 する 自 己 評 価		
																								① 市 広 報 ・ 市 HP	② 市 の SNS	③ ち ら し ・ ポ ス タ ー 類	④ 市 以 外 の HP・ SNS	※ ④ の 掲 載 先			
文化国際課	【文化振興基金積立事業】 文化振興基金積立事業 (文化振興基金活用)			IV-4							○	文化振興基金は、文化施設の修繕やソフト事業の実施に活用されている。現在、岸和田市ふるさと寄附金事業のなかの一つの選択肢として文化振興基金が位置付けられている。ふるさと寄附金事業を案内するチラシがあり、担当課が中心となって広報活動を行っている。(アウトリーチ事業・クラスコンサート・杉江能楽堂「素踊りの會」)	原資の確保と、基金の周知活動。	寄附者の満足度を高めていく活用方法を検討していく。						○	企画課		6,557	○		○	○	専用ポータル サイト	○	現在、ふるさと寄附金事業の周知方法はチラシ・専用ポータルサイトがある。また、基金の活用結果も同様に行っている。	A

